

学校支援の充実

「安心できる学校」を目指して

豊明市立大宮小学校 P T A

1 はじめに

豊明市は名古屋市南部に隣接しており、人口約6万9千人、昭和47年に愛知県で30番目の市として誕生した。緑豊かで快適な居住環境と交通の利便性を備えているだけでなく、市内には「桶狭間古戦場伝説地」や、市内を一望できる名勝地「二村山」、その側らに今も残る「鎌倉街道」等、訪れる人を楽しませてくれる歴史的遺跡がある。また、市南部には鉢物花き市場として全国有数の取扱高を誇る「愛知豊明花き地方卸売市場」や、愛知・岐阜・三重・静岡・北陸地域の一部に製品を製造・出荷する「フジパン豊明工場」等、産業の核となる施設がある。

本校は令和6年度に創立50周年を迎えた。豊明市の中西部にあり、学区内には桶狭間の戦いの戦死者約2500名を供養する「戦人塚」や、年間2つのG1レースを開催する「中京競馬場」がある。令和7年10月現在、児童数272名、学級数16(特別支援学級5)の本校は、校訓「さとく あかるく たくましく」のもと、人間性豊かで心身ともに健やかな児童の育成を目指している。

本校は地域とのつながりも深く、今から38年前に設置された大宮小学校区地域連携推進委員会と連携した活動を継続している。また地域ボランティアの方々に登校時の見守り活動、月1回の読み聞かせでお世話になっている。祖父母・父母・子の三代に渡り本校卒業生という家庭も多く、多くの協力を得ながら教育活動を進めている。【創立50周年記念キャラクター 大宮ぎり】



2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、運動会や大宮まつり(学習発表会)の運営補助や給食試食会、春・秋の除草作業等の活動に取り組んでいる。令和6年度にはPTA活動や役員・委員の負担軽減のため、活動内容の見直しや組織の在り方について見直しを行った。

今年度の本校の課題は、PTA見直し後の検証である。本校のPTA活動の合言葉「できる人が、できることを」を基盤に、「今とこれからの大宮小学校の子どもたち」のために、最小限の労力で効果的な活動ができるよう、どのような工夫ができるかが大切だと考えた。

(2) P T A組織と主な活動

本校 P T A組織は、令和 6 年度まで地区ごとに決められた人数の役員・委員で構成されていたが、令和 7 年度からは地区ごとの人数割り当てを廃止し、アンケートで役員・委員を募る形式とした。令和 6 年度までは約 20 名の役員・委員で活動していたが、7 年度は会長を含め 7 名で活動している。それに伴い、P T A の活動内容を子どもにとって有意義なものだけに精査し、人手が必要な行事の際には e メッセージ（連絡用アプリ）を活用してボランティアを募るなど、限られた人数でも十分に活動できる体制をつくっている。

大宮小 P T A の主な活動

- ・ 運動会補助（受付・記録写真撮影）
- ・ 除草作業（春・秋）
- ・ 通学路等の安全点検
- ・ 給食試食会
- ・ P T A 新聞「大宮」発行

会員からボランティアを募っての活動

- ・ 大宮しゅうかく祭
(児童のおにぎりづくりのサポート)

3 実践活動の概要

(1) 子どもの健康・安全・成長を支援する取り組み

① 学校行事除草作業（春・秋）

運動会、持久走記録会に向けた環境整備活動の一環として、5月と 11 月に除草作業を実施している。30 分間程度の活動ではあるが、児童・保護者合わせて約 200 名が協力し、自分たちの学校をみんなできれいにする機会となっている。

今年度は高齢者クラブの方々に声をかけ、草刈りボランティアを募った。6 名の方が協力してくださり、日頃なかなか整備できないエリアの除草ができて大変ありがたかった。



【除草作業】

② 長期休業中の通学路等の安全点検

通学路や児童がよく遊びに行く場所付近を実際に歩き、児童にとって危険だと思われる箇所を地図に記入・報告している。報告された情報をもとに「安全ハザードマップ」を更新し、新たな危険箇所を周知している。

新たな危険箇所については、地域連携推進委員会や登校ボランティア等地域の方々とも情報共有し、安全喚起の看板を設置したり、自治体に改善要望を出したりする等、必要に応じて具体的な対策を講じることを心がけている。

③ 給食試食会・6年生の田植えと稲刈り・大宮しゅうかく祭

毎年10月に1年生から6年生の保護者約30名を募り、学校給食を体験するために給食試食会を実施している。今年度も栄養教諭を招き、食育の重要性や、「地産地消」「国産」の食材にこだわった献立作成の工夫について講話をしていただいた。また保護者に児童の配膳、会食の様子を見ていただいた。

以前、本校では学校の敷地内で米づくりを行っていたが、維持・継続が困難となつたため田畠を廃止。以来、地域の方のご厚意により、6年児童が田植えと稲刈りを体験する機会を提供していただいている。そこで収穫したお米を炊いて、全校児童でおにぎりをつくりて食べるというイベントを、毎年11月に「大宮しゅうかく祭」と銘打ち開催している。保護者からは低学年児童のおにぎりづくりの支援ボランティアを募り、今年度も約30名のボランティアが協力してくれました。

給食試食会や田植え・稲刈りの体験、大宮しゅうかく祭は、児童や保護者にとって、食のありがたさについて考える機会であり、食を通じた児童と保護者のかかわりの場となっている。



【6年生の田植え】



【おにぎりづくり】

(2) 学校と家庭・地域の連携を支援する取り組み

① 大宮小学校区地域連携推進委員会の概要

「近隣地域の相互信頼・連携を育て、家庭教育の充実と住民意識の向上を図る」ことを目的とし、昭和62年に設置された大宮小学校区地域連携推進委員会は、学校評議員会としての役割も果たしている。

委員会の構成員は、元・現PTA会長をはじめ区長、副区長（地区青少年健全育成推進委員長）、民生児童委員、高齢者クラブ代表者（登校ボランティアを兼ねる委員が多い）と様々である。委員会は年

大宮小学校区地域連携推進委員会の主な活動

- ・登校ボランティア
- ・読み聞かせボランティア
- ・草刈りボランティア
- ・三区三世代グラウンドゴルフ大会
- ・大宮遠足会（ウォークラリー）

3回開かれ、児童・保護者・地域の方々との親睦を図るための行事の運営方法の検討や学区の危険箇所の情報共有、本校の現状や課題等を議題とし、率直な意見交換を行っている。

② 学校・家庭・地域をつなぐ行事

毎年春に三区三世代グラウンドゴルフ大会を実施している。

グラウンドゴルフは高齢者クラブで盛んに取り組まれているスポーツである。児童・保護者にとって新鮮かつ楽しい種目であり、地域の高齢者にとってルールや上手な打ち方等について児童・保護者にアドバイスできる利点がある。今年度も約60名の参加者が集まり、三世代で楽しいひとときを過ごすことができた。

また、秋には大宮遠足会（ウォークラリー）を実施している。児童・保護者・地域の方でチームを組み、クイズや魚釣りゲーム、輪投げゲームを楽しみながら約5kmのコースを歩くことで、市内の自然に親しみながら地域の方々との親睦を深める機会となっている。

これらふたつの行事では、本校の卒業生である中学生に運営ボランティアとして協力を依頼している。10～15名の中学生が集まり、様々な世代の親睦の場となっている。



【三区三世代グラウンドゴルフ大会】



【大宮遠足会】

4 おわりに

本校では、昨年度から今年度にかけてもPTA活動や組織の見直しを行ってきた。今のところどの活動も円滑に進めることができている。PTAの役員・委員を積極的に引き受ける保護者の数は決して多いとは言えないが、保護者の自主性を大切にした組織づくりこそがPTA活動の能動化・活発化につながると考える。また、地域の方々がもつ「専門性」や「得意」を引き出せるよう、積極的に呼びかけ、今後も「持続可能なPTA活動」「地域全体を巻き込んだ教育活動」を目指していくことを本校の課題としていきたい。



【大宮まつり】